

連合胆江 NEWS

連合岩手胆江地域協議会

発行責任者 高橋幸雄

発行日 2019年7月30日

ノーモア・ヒロシマ！ ノーモア・ナガサキ！

1945年8月6日、広島に原子爆弾が投下され、一瞬にして焼け野原となった。また、3日後の9日には長崎に投下され、併せて22万人余りの尊い命が奪われました。そして、今もなお放射能障害に苦しんでいる人たちがいます。現存する核兵器は世界中に1万4,450発も存在し、私たちはその脅威から解放されていません。

連合胆江は7月24日、平和環境胆江地区労センター・胆江地区友愛会・胆江地区原水爆禁止協議会と連携し、核兵器廃絶にむけて平和行進を行いました。気温30度を超える猛暑の中、水沢コース⇒江刺コース⇒金ヶ崎



水沢コース参加者

コースと横断幕を中継しながら世界の恒久平和を訴えました。私たちは、戦没者や戦争犠牲者が被ったはかりしれない苦痛と犠牲を忘れてはなりません。

連合、原水禁、KAKKINの三団体は毎年、核兵器を保有する国の駐日外国公館に対して、「核兵器廃絶」に向けた要請行動を行っています。そして「2015NPT（核兵器不拡散条約）再検討会議」にあわせて取り組んだ「核兵器廃絶100万署名」では、集約した約720万筆の署名を国際連合および日本政府に提出しました。しかし、

「2015NPT再検討会議」は、核兵器保有国と非保有国の対立により最終文書が採択されないまま閉幕してしまいました。私たちは平和を願う世界市民と連帯し、なんとしてもNPT体制の崩壊を阻止しなければなりません。次回、2020年に開催される「NPT再検討会議」に向けて、核兵器廃絶に向けた機運が世界中で高まっている今こそ、さらなる世論喚起と国際的な働きかけを強めていかなければなりません。

私たちも、職場・地域から世界平和の実現に向けて、取り組みを継続・強化していかなければなりません。大粒の汗を流しながら行進していただいた78人の参加者の皆さん、ご協力ありがとうございました。



江刺コース参加者



金ヶ崎コース参加者



金ヶ崎駅前にて挨拶する胆江地区原水爆禁止協議会の高橋会長